

第【 1 】学年【 国語 】科学習指導計画

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	主な学習活動	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	1 豊かに想像する	朝のリレー【読む(詩)】 ●詩の構成や表現の効果について考えながら、情景を想像して音読する。(Cエ) ●詩を読んで感じたり想像したりしたことを共有する。(Cオ)	1 詩の構成や表現の効果について考えながら、情景を想像して音読する。 2 詩を読んで感じたり想像したりしたことを共有する。	・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)	①「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) ②「読むこと」において、 <u>文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。</u> (Cオ)	・進んで自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。
		竜【読む(物語)】 ●描写をもとに三太郎の心情の変化を捉える。(Cイ) ●擬態語などの表現の工夫に着目して読み、表現の効果について考える。(Cエ)	1 本文を通読し、場面ごとの内容を捉える。 2 描写をもとに三太郎の心情の変化を捉える。 3 擬態語などの表現の工夫に着目して読み、表現の効果について考える。 4 物語における表現の効果について考えを深める。	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、使っている。(2)イ)	①「読むこと」において、 <u>場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。</u> (Cイ) ②「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ)	・進んで心情の変化などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。
5		グループディスカッション 話題や展開にそって話し合いをつなげる【話す・聞く】 ●話題や展開にそって話し合いをつなげるための方法を理解し、活用する。(Aオ) ●必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、自分の考えをまとめる。(Aエ)	1 話題や展開にそって話し合いをつなげるための方法を理解する。 2 話し合いをつなげるための方法を、グループディスカッションで活用する。 3 記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、自分の考えをまとめる。	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)	①「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などをふまえて、自分の考えをまとめている。(Aエ) ②「話すこと・聞くこと」において、 <u>話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。</u> (Aオ)	・積極的に話題や展開を捉え、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
		言葉発見① 音声のしくみとはたらき ●音声のはたらきやしくみについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1 日本語の音節や五十音図のしくみなどを理解し、音声のしくみとはたらきについて考える。	・ <u>音声のはたらきやしくみについて理解を深めている。</u> ((1)ア)		・進んで音声のはたらきやしくみについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。

9	3 もの見方・感性を養う	字のない葉書【読む(随筆)】 ●場面と場面、場面と描写などを結びつけて、内容を解釈する。(Cウ) ●行動の描写をもとに、人物像や人物の心情の変化を捉える。(Cイ)	1 場面と場面、場面と描写などを結びつけて、内容を解釈する。 2 行動の描写をもとに、人物像や人物の心情の変化を捉える。 3 「私」の父に対する思いについて考える。	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)	①「読むこと」において、 <u>場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(Cイ)</u> ②「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。(Cウ)	進んで心情の変化などについて描写をもとに捉え、学習課題にそって考えを記録しようとしている。
		部首と成り立ち ●漢字の部首と成り立ちについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1 漢字の部首と意味の関係について理解する。 2 漢字の成り立ちについて理解する。	① <u>常用漢字(300字～400字)を読んでいる。(1)イ)</u> ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ)		・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。
		随筆 体験に向き合い 意味づける【書く】 ●日常生活の体験の中から題材を決め、表現したいことの内容を明確にしてまとめる。(Bア) ●交流をとおして、表現のよい点や改善点を見つける。(Bオ)	1 日常生活の体験の中から題材を決める。 2 表現したいことの内容を明確にしてまとめる。 3 交流をとおして、表現のよい点や改善点を見つける。	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)	①「書くこと」において、 <u>目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決めている。(Bア)</u> ②「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ)	粘り強く日常生活の中から題材を決め、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。
		本を読むことのおもしろさ ●読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解し、読書をとおして自分の考えを確かなものにする。(知・技(3)オ, Cオ)	1 教材文を読み、感想を交流する。 2 本を選んで読み、自分の考えを広げたり深めたりする。	・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ)	・「読むこと」において、 <u>文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(Cオ)</u>	進んで自分の考えを確かなものにし、学習したことを生かして学校図書館などを利用し、多様な情報を得ようとしている。
		玄関扉【読む(説明)】 ●文章の要旨を捉え、筆者の考えに対して自分の考えをもつ。(Cア, Cオ) ●論の展開・構成をふまえて、「外開き」が肯定される過程を捉える。(Cエ)	1 文章の構成と要旨を捉える。 2 「内開き」についての筆者の考えを整理する。 3 論の展開・構成をふまえて、「外開き」が肯定される過程を捉える。 4 筆者の考えに対して自分の考えをもつ。	①原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ②比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)	①「読むこと」において、 <u>文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。(Cア)</u> ②「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) ③「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにして考えている。(Cオ)	進んで事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、学習課題にそって考えをまとめようとしている。
		接続する語句・指示する語句 ●指示する語句と接続する語句の役割について理解を深める。(知・技(1)エ)	1 接続する語句について理解する。 2 指示する語句について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。	①常用漢字(300字～400字)を読んでいる。(1)イ) ② <u>指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ)</u>		・進んで指示する語句と接続する語句の役割について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。

11	5 古典に学ぶ	<p>月を思う心【読む(解説)】</p> <p>●古典の世界への理解を深め、月と人々との関わりについて考える。(知・技(3)イ, Cア)</p> <p>竹取物語【読む(古文)】</p> <p>●古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、古典の世界を感じ取る。(知・技(3)ア)</p> <p>●登場人物の相互関係や心情の変化について、描写をもとに捉える。(Cイ)</p>	<p>1 月と人々との関わりについて考える。</p> <p>2 古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、内容を捉える。</p> <p>3 登場人物の相互関係や心情の変化について、描写をもとに捉える。</p> <p>4 古典の世界を感じ取り、現代と比べて考えを広げる。</p>	<p>・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。(3)イ)</p> <p>・音読に必要な文語のきまりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)</p>	<p>・「読むこと」において、<u>文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。(Cア)</u></p> <p>①「読むこと」において、<u>場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(Cイ)</u></p> <p>②「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈している。(Cウ)</p> <p>③「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにして考えている。(Cオ)</p>	<p>・進んで要旨を把握し、学習したことを生かして考えたことを報告しようとしている。</p> <p>・進んで登場人物の相互関係や心情の変化を描写をもとに捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。</p>
----	------------	--	---	--	--	---

		3 「文法のまとめ」「4 名詞」「5 副詞・連体詞・接続詞・感動詞」で、各品詞の特徴を理解する。			
	<p>それだけでいい【読む(詩)】</p> <p>●詩の中の言葉を的確に捉えて、内容を理解する。(Cウ)</p> <p>●表現に着目しながら読み、その特徴と効果について自分の考えをもつ。(Cエ)</p>	<p>1 詩の中の言葉を的確に捉えて、内容を理解する。</p> <p>2 表現に着目しながら読み、その特徴と効果について自分の考えをもつ。</p>	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)	<p>①「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。(Cウ)</p> <p>②「読むこと」において、<u>文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ)</u></p>	・進んで文章の構成や展開、表現の効果を捉え、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。
2	<p>トロッコ【読む(小説)】</p> <p>●人物の言動に着目して、心情の変化を捉える。(Cイ)</p> <p>●情景描写と場面の展開を捉え、表現の効果について考える。(Cウ, Cエ)</p>	<p>1 主人公のトロッコに対する思いを捉える。</p> <p>2 人物の言動に着目して、心情の変化を捉える。</p> <p>3 情景描写と場面の展開を捉え、表現の効果について考える。</p> <p>4 最後の一文に描かれた情景から、作品を読み深める。</p>	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)	<p>①「読むこと」において、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(Cイ)</p> <p>②「読むこと」において、<u>場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。(Cウ)</u></p> <p>③「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ)</p>	・進んで場面と描写などを結びつけて内容を解釈し、学習課題にそって考えたことを記録しようとしている。
	<p>意味と意図【読む(説明)】</p> <p>●目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。(Cウ)</p>	<p>1 文章に示された事例について、比較して捉える。</p> <p>2 必要な情報に着目して文章を要約し、内容を捉える。</p> <p>3 文章を読んで理解したことをもとに自分の考えを深める。</p>	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)	<p>①「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(Cウ)</p> <p>②・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(Cウ)</p>	・進んで必要な情報に着目して要約し、学習課題にそって理解したことを文章にまとめようとしている。
3	<p>方言と共通語</p> <p>●共通語と方言の果たす役割について理解する。(知・技(3)ウ)</p>	<p>1 地域による言葉の違いがあることを理解する。</p> <p>2 方言のアクセントの特徴について考える。</p> <p>3 方言と共通語の使い分けについて考える。</p> <p>4 「確かめよう」の課題に取り組む。</p>	<p>①事象や行為、心情を表す語句の量を増している。((1)ウ)</p> <p>②<u>共通語と方言の果たす役割について理解している。((3)ウ)</u></p>		・進んで共通語と方言の果たす役割について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。

第【1】学年 【 社会科 】科学習指導計画

月	単元名	小単元・目標	主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	評 価 規 準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	【地理】 世界と日 本の姿	1. 世界の姿	<ul style="list-style-type: none"> 地球の表面の水陸の分布、面積、経度と緯度、標準時、時差の求め方を理解する。 目的に応じた色々な地図があることに気づく。正距方位図法をつかい、距離と方位を調べる。 世界の地域区分について理解する。 各地域がどのような国から構成されているか、調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地球儀を活用して、緯度と温度との関係、緯度と日照時間との関係、経度と時間との関係を立体的に捉えている。季節の変化を図によって把握している。 地球儀や世界地図を活用して、世界には約190の国があることや、主な国々の国名と位置、首都を確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日照時間や日の出・日の入りの刻の違いが私たちの暮らしに与える影響をまとめることができる。 自然国境と人為国境の特徴と違いを把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> 気候や時間が緯度・経度によって異なることに関心を持ち、その関連性を意欲的に追及している。 世界の主な国々の名称と位置、首都を意欲的に調べようとしている。
		2. 日本の姿	<ul style="list-style-type: none"> 日本の国土の位置及び領域の特色と多面的・多角的に考察し、日本の現状と位置と領域の面から大観させる。 経度の違いが、標準時と時差の仕組みを踏まえて、地球上における日本と世界各地との位置関係をとらえさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界的な視野から日本の領域の特色と変化を理解し、日本の地域構成を、地図を活用して適切にとらえている。 標準時と時差のしくみについて理解し、世界地図を活用して、簡単な時差の計算ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の位置と領域の特色を、世界的な視野から多面的・多角的に考察し、簡単な説明文にまとめるなど適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の国土に対する関心を高め、日本の位置と領域、都道府県の構成と地域区分を意欲的に追求し、日本の地域構成を大まかにとらえようとしている。
6	【地理】 世界のさまざまな地域	1. 世界の人々の生活と環境	<ul style="list-style-type: none"> 地域で異なる自然環境の違いを写真や映像資料、雨温図、統計資料からとらえる。 人々の生活と環境とのかかわりや、様々な条件のもとで多様な生活を営んでいることを理解させるとともに、異なる文化尊重する態度を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界各地の人々の生活と環境の多様性に関する写真や統計資料、文献などの様々な資料から、自然環境の違いや社会的条件の違いに関する有用な情報を適切に選択し、世界各地の人々の生活と環境の多様性について読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然的条件、社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を基に自分たちの生活と比較しながら考察し、その過程と結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然及び社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変化を基に意欲的に追究し、とらえようとしている。
		1. アジア州	<ul style="list-style-type: none"> アジア州の学習テーマを追究していく過程において、その地域的特色と課題を多面的・多角的に考察する。 アジア州に関する統計資料の分析、雨温図・主題図・写真の読み取りや比較・関連付けなどの地理的技能を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> アジア州について、変化に富む自然環境と、都市化が急速に進む様子を概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> アジア州の経済が成長してきた理由について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> アジア州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、特に経済成長に関心を持ち、設定された学習テーマを意欲的に追究しようとしている。
7	世界の諸地域	2. ヨーロッパ州	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ州の学習テーマを追究していく過程において、その地域的特色と課題を多面的・多角的に考察する。 ヨーロッパ州に関する統計資料の分析、雨温図・主題図・写真の読み取りや比較・関連付けなどの地理的技能を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ州について、小国が多いこと、地域により異なる農業がさかんなこと、世界経済における地位が低下してきた様子を概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解している。 EUの成り立ち・他地域との結びつきを調べる際にどのような資料が有効か把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ州の国家間の統合が進められてきた理由や、統合が可能となった理由について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 国の産業から見た結びつきを資料の読み取りから考察できる。EUの果たす役割について考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、特に国家間の統合に関心を持ち、設定された学習テーマを意欲的に追究しようとしている。

12		3. 古代国家の歩みと東アジア世界	<ul style="list-style-type: none"> 古墳の広まりを通して、日本の古代国家形成の過程と渡来人の役割を理解する 日本の律令国家のしくみや農民の生活を理解し、その変容について考える。 仏教の広まりと文化の特色を理解する。 律令制の衰えの中、中央と地方の政治について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 大化の改新や大宝律令など律令国家成立の過程を理解し、古墳・十七条憲法・大宝律令などの資料を活用している。 遣唐使の派遣目的を資料から読み取ることができる。 日本の律令国家のしくみや農民の生活を理解している。 律令制の衰えの中、中央と地方の政治について理解する。 平城京・飛鳥文化・天平文化について各時代の代表的な文化遺産をもとに考察している。摂関政治・武士のようす・国風文化を調べる上でいろいろな資料を活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 大化の改新や壬申の乱を通して、天皇の地位が高まっていったことを考察している。 平城京を中心として行われた全国支配のしくみとその変容について考察している。 武士の登場の背景を、律令政治のゆらぎや地方政治の乱れと関連づけて考察している。平安時代の主権者の変遷を歴史的背景から読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 天皇による政治の基盤ができあがっていく過程に関心を持っている。 平城京・平安京のようす・摂関政治のなりたちに関心を持っている。 武士の登場と成長の過程に関心を持ち調べている。 国風文化による具体的な動きに関心を持っている。
	1	【歴史】 中世の日本	1. 武士の政権の成立	<ul style="list-style-type: none"> 律令制をめぐる政治の変化の中で、武士がおこってきたことを理解する。 鎌倉幕府の成立過程や支配のしくみと政治の中心が京都と鎌倉の二つになっていたことを農民の立場から理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 律令制をめぐる政治の変化の中で、武士がおこってきたことを理解する。 鎌倉時代の武士と農民のくらしや産業発達の様子を理解できている。 農民の訴状から地頭と荘園領主に二重支配されていたことを読み取っている。 社会のようすの資料を読み取っている。 各時代の文化遺産を学習に活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 武家政権が朝廷との抗争をへて、全国に勢力を広げていったことを考察している。 農業や商工業の発達などに着目して、武家政治の成立について多面的・多角的に考察・表現している。 鎌倉時代文化の特色を考えている。
2		2. ユーラシアの動きと武士の政治の展開	<ul style="list-style-type: none"> 中世の日本の変化を東アジアの情勢と関わらせて理解をする。 鎌倉幕府を滅亡させた武士社会の変化について調べ、諸産業発達を知る。 武家社会では下剋上がはげしくなり、農村では自治が進んだことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 元寇についていろいろな資料を活用して学習している。 幕府を滅亡させた武士社会の変化について理解している。 東アジアとの交流について、地図などを活用して理解している。 室町時代の下剋上の社会や農村の自治の進展の背景を理解している。 室町の文化の特色について、鎌倉の文化との共通性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉幕府のおとろえた原因を、多面的に考察している。 室町幕府の成立、下剋上の過程を通して、農村の自治が進む背景を考察している。 ユーラシアの動きや東アジアにおける交流と武家政権とを関連させて、多面的・多角的に考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> 元寇と武士の抵抗のようすに興味と関心を持っている。 室町幕府の政治・下剋上のようすや農民の自治に関心を持ち、追求している。 中世の文化に興味と関心を持っている。
3	【歴史】 近世の日本	1. ヨーロッパ人との出会いと全国統一	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ人の来航の背景を、新航路の開拓を中心に理解させ、鉄砲とキリスト教の伝来が日本に与えた影響を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航について理解し、その知識を身に付けている。 戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航、織田・豊臣による統一事業と、当時の対外関係や文化に関する図版、史料、年表、歴史地図などの様々な資料を収集するとともに、情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ文化の伝来が日本の社会に及ぼした影響を、キリスト教や鉄砲の伝来、南蛮貿易に注目して、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航に対する関心を高め、意欲的に追究している。

第【1】学年 【数学科】科学習指導計画

月	単元名	小単元・目標	主な学習活動・内容	評価規準			
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	正の数の負の数	1節 正の数・負の数	1 0より小さい数	<ul style="list-style-type: none"> 正の数・負の数の必要性和意味について、具体的な場面と結びつけて理解している。 符号や自然数、整数の意味を理解している。 正の数・負の数を数直線上に表したり、数直線上に表された数を読み取ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 正の数・負の数が使われている具体的な場面を見だし、正の数・負の数がどのように用いられているのかを考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 正の数・負の数の必要性和意味について、具体的な場面と結びつけて考えようとしている。 	
			2 正の数・負の数で量を表すこと	<ul style="list-style-type: none"> 正の数・負の数を用いて、反対の性質をもつ量や、ある基準を決めたときの量を表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 正の数・負の数を用いて、反対の性質をもつ量や、ある基準を決めたときの量を表すときの方法を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 正の数・負の数を用いて、反対の性質をもつ量や、ある基準を決めたときの量を表す方法を考えようとしている。 	
			3 絶対値と数の大小	<ul style="list-style-type: none"> 絶対値、正の数・負の数の大小関係の意味を理解している。 数の大小関係を、不等号を用いて表すことができる。 基準となる数より、ある数だけ大きい数や小さい数を、数直線を用いて求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 基準となる数より、ある数だけ大きい数や小さい数を求める方法を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 基準となる数より、ある数だけ大きい数や小さい数を求める方法を考えようとしている。 	
			2節 正の数・負の数の計算	1 正の数・負の数の加法、減法	<ul style="list-style-type: none"> 正の数・負の数の加法、減法の方法を理解している。 正の数・負の数の加法、減法の計算をすることができる。 数を正の数・負の数にまで拡張することによって、加法と減法を統一的にみることができていることを理解している。 加法と減法の混じった式を、正の項や負の項の和として表すことができる。 加法と減法の混じった式の計算をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習の計算をもとにして、正の数・負の数の加法、減法の方法を見だし表現することができる。 加法と減法を統一的にみることによって、加法と減法の混じった式を正の項や負の項の和として捉え表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数の範囲を拡張し、正の数・負の数の加法、減法の意味や計算の方法を考えようとしている。
				2 正の数・負の数の乗法、除法	<ul style="list-style-type: none"> 正の数・負の数の乗法、除法の方法を理解している。 正の数・負の数の乗法、除法の計算をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習の計算をもとにして、正の数・負の数の乗法、除法の方法を見だし、表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数の範囲を拡張し、正の数・負の数の乗法、除法の意味や計算の方法を考えようとしている。
				3 いろいろな計算	<ul style="list-style-type: none"> 指数の意味を理解している。 四則をふくむ式の計算をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 正の数と負の数の四則が混じった計算の方法について考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 正の数と負の数の四則が混じった計算の方法を考えようとしている。
				4 数の世界のひろがり	<ul style="list-style-type: none"> 数の集合の意味や数の集合における四則計算の可能性について理解している。 素数の意味を理解している。 1や素数でない自然数を素数の積として表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数の集合における四則計算の可能性を考察し表現することができる。 自然数を素数の積で表すことにより、約数、倍数などの整数の性質について捉え直すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数の集合における四則計算の可能性を考えようとしている。
5							

9		2 方程式の解き方	<ul style="list-style-type: none"> ・移項の意味を理解している。 ・方程式を解く手順を理解している。 ・簡単な方程式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数や文字式の計算と方程式を解く方法の違いについて考察し表現することができる。 ・等式の性質をもとにして、移項して方程式を解く方法を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・等式の性質と移項及びその関係について考えようとしている。 	
		3 比と比例式	<ul style="list-style-type: none"> ・比の値、比例式の意味を理解している。 ・簡単な比例式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の方程式と関連づけて、比例式を解く方法を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・比例式を解く方法を考えたり、解いたりしようとしている。 	
	2節 方程式の利用	1 方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・方程式を活用して問題を解決する方法について理解している。 ・事象の中の数量やその関係に着目して方程式をつくり、その方程式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・方程式を具体的な場面で活用することができる。 ・求めた解や解決の方法をふり返って、それらが適切であるかどうかを考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ・方程式を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。 	
		2 比例式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・事象の中の数量やその関係に着目して比例式をつくり、その比例式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・比例式を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・比例式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 	
		3 方程式とその解				
10	変 化 と 対 応	1節 関数	1 関数	<ul style="list-style-type: none"> ・関数関係の意味を理解している。 ・関数関係を、表やグラフ、式で表すことができる。 ・変数と変域の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事象の中にある2つの数量の関係を表した表やグラフなどをもとにして、変化や対応の様子を捉え表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関数関係を表やグラフなどで表したり、変化や対応の様子を捉えたりしようとしている。
		2節 比例	1 比例の式	<ul style="list-style-type: none"> ・比例の意味を理解している。 ・比例の関係を、表や式に表すことができる。 ・比例の変化や対応の特徴を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事象の中にある2つの数量の関係を、変化や対応の様子に着目して調べ、比例の関係として捉えられる2つの数量を見いだすことができる。 ・変数や定数が負の数の場合について、比例の変化や対応の特徴を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事象の中から比例の関係として捉えられる2つの数量を見いだしたり、その関係を式で表したりしようとしている。 ・変数や定数が負の数の場合について、比例の変化や対応の特徴を考えようとしている。
			2 座標	<ul style="list-style-type: none"> ・座標の意味を理解している。 ・座標をもとにして平面上に点をとったり、平面上の点を座標を用いて表したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で学習した座標を、負の数まで拡張して考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・座標をもとにして平面上に点をとったり、平面上の点を座標を用いて表したりしようとしている。
			3 比例のグラフ	<ul style="list-style-type: none"> ・比例をグラフで表すことができる。 ・比例のグラフの特徴を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・変数や定数が負の数の場合について、比例のグラフの特徴を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・変数や定数が負の数の場合について、比例のグラフの特徴を捉えようとしている。
		3節 反比例	1 反比例の式	<ul style="list-style-type: none"> ・反比例の意味を理解している。 ・反比例の関係を、表や式に表すことができる。 ・反比例の変化や対応の特徴を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事象の中にある2つの数量の関係を、変化や対応の様子に着目して調べ、反比例の関係として捉えられる2つの数量を見いだすことができる。 ・変数や定数が負の数の場合について、反比例の変化や対応の特徴を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事象の中から反比例の関係として捉えられる2つの数量を見いだしたり、その関係を式で表したりしようとしている。 ・変数や定数が負の数の場合について、反比例の変化や対応の特徴を考えようとしている。
			2 反比例のグラフ	<ul style="list-style-type: none"> ・反比例をグラフで表すことができる。 ・反比例のグラフの特徴を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・変数や定数が負の数の場合について、反比例のグラフの特徴を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・変数や定数が負の数の場合について、反比例のグラフの特徴を捉えようとしている。
		4節 比例・反比例の	1 比例、反比例の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事象の中には、比例、反比例とみなすことで変化や対応の様子について調べたり、予測した 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事象から取り出した2つの数量の関係を比例、反比例であるかどうかを判断し、その変化や 	<ul style="list-style-type: none"> ・比例、反比例について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。

1	形		2 空間内の平面と直線	<ul style="list-style-type: none"> 空間における直線や平面の位置関係を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 空間における直線と直線、直線と平面、平面と平面の位置関係にはどのような場合があるのかについて考察し表現することができる。 空間における直線と直線、直線と平面、平面と平面の位置関係について、平行や垂直であるかどうかを確かめ表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 空間における直線や平面の位置関係について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。
			3 立体の構成	<ul style="list-style-type: none"> 平面図形や線分の運動によって、どのような立体が構成されるのかを理解している。 回転体の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 柱体、錐体、球などの立体を、平面図形や線分の運動によって構成されていると捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 平面図形や線分の運動によって構成される立体について考えようとしている。
		2節 立体の体積と表面積	1 立体の体積	<ul style="list-style-type: none"> 柱体、錐体、球の体積の求め方を理解している。 柱体、錐体、球の体積を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験による測定などをもとにして、柱体、錐体、球の体積の求め方について考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 柱体、錐体、球の体積の求め方について考えようとしている。
			2 立体の表面積	<ul style="list-style-type: none"> 柱体、錐体、球の表面積の求め方を理解している。 柱体、錐体、球の表面積を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験による測定などをもとにして、柱体、錐体、球の表面積の求め方について考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 柱体、錐体、球の表面積の求め方について考えようとしている。
2	データの活用	1節 ヒストグラムと相対度数	1 データを活用して、問題を解決しよう	<ul style="list-style-type: none"> ヒストグラムや相対度数、範囲、累積度数などの必要性和意味を理解している。 コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やヒストグラムなどに整理することができる。 データを相対度数や累積相対度数を用いて整理することができる。 ヒストグラムや代表値、相対度数などを用いて、問題を解決する方法について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じてデータを収集する方法や、それらを分類・整理したり、分析したりする方法について考察し表現することができる。 ヒストグラムなどをもとにして、データの分布の特徴や傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。 相対度数や累積相対度数をもとにして、データの分布の特徴や傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ヒストグラムや相対度数、範囲、累積度数などの必要性和意味を考えようとしている。 データの活用の仕方について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ヒストグラムや相対度数などを活用した問題解決の過程をふり返って検討しようしたり、多面的に捉え考えようしたりしている。
			2 整理されたデータから読みとろう	<ul style="list-style-type: none"> 代表値だけではデータの分布のようすを表せないことがあることを理解している。 度数分布表から平均値を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 整理されたデータを批判的に考察し判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 整理されたデータの分布の傾向を読み取ろうとしたり、見いだした結論や過程を批判的に考察したりしようとしている。
			2節 データにもとづく確率	1 相対度数と確率	<ul style="list-style-type: none"> 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解している。 多数回の試行の結果から、相対度数を計算し確率を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。
3						

第【1】学年 【 理科 】科学習指導計画

月	単元名	小単元・目標	主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	評 価 規 準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	自然の中にあふれる生命	1. 自然の中にあふれる生命	校庭や学校周辺の生物の観察を行い、いろいろな生物がさまざまな場所で生活していることを見いだして理解するとともに、観察器具の操作、観察記録のしかたなどの技能を身につけること。 いろいろな生物を比較して見いだした共通点や相違点をもとにして分類できることを理解するとともに、分類のしかたの基礎を身につけること。 身近な生物を観察することにより、生物に対する興味・関心を高めること。	いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生物の観察と分類のしかたについての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	生物の観察と分類のしかたに関する事物・現象に進んで関わり、見直しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
5月	いろいろな生物とその共通点	2. 植物の特徴と分類	身近な植物の外部形態の観察を行い、その観察記録などにもとづいて、共通点や相違点があることを見いだして、植物の体の基本的なつくりを理解すること。また、その共通点や相違点にもとづいて植物が分類できることを見いだして理解すること。 植物に対する興味・関心をもち、植物を観察するときどのような点に注目すればよいかを考える力を身につけること。	いろいろな植物の共通点と相違点に着目しながら、植物の体の共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	植物の体の共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな植物の共通点や相違点を見いだすとともに、植物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	植物の体の共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかかわり、見直しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
6月		3. 動物の特徴と分類	身近な動物の外部形態の観察を行い、その観察記録などにもとづいて、共通点や相違点があることを見いだして、動物の体の基本的なつくりを理解すること。また、その共通点や相違点にもとづいて動物が分類できることを見いだして理解すること。 動物に対する興味・関心を高め、動物を観察するときどのような点に注目すればよいかを考える力を身につけること。	いろいろな動物の共通点と相違点に着目しながら、動物の体の共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	動物の体の共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな動物の共通点や相違点を見いだすとともに、動物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	動物の体の共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかかわり、見直しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

1 2 月	光・音・力による現象	2. 音による現象	音についての実験を行い、音はものが振動することによって生じること、音は波として空気中を約340m/sの速さで伝わること、および音の大きさや高さは音源の振動のしかたに関係することを見いださせる。	音に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、音の性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	音について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、音の性質の規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	音に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
		3. 力による現象	物体に力をはたらかせる実験を行い、物体に力がはたらくとその物体が変形したり、動き始めたり、運動のようすが変わったりすることを見いださせるとともに、力は大きさと向きによって表されることを理解させる。また、2力のつり合いの実験を行い、1つの物体にはたらく2力がつり合う条件を見だし理解させる。	力のはたらきに関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、力のはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	力のはたらきについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、力のはたらきの規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	力のはたらきに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
1月	活きている地球	1. 身近な大地	身近な地形などの観察を通して、大地の成り立ちなどを理解させる。観察器具の基本的な扱い方などを身につけさせる。	大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、身近な地形や地層、岩石の観察についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	身近な地形や地層、岩石の観察について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性などを見だし表現しているなど、科学的に探究している。	身近な地形や地層、岩石の観察に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
		2. ゆれる大地	地震計の記録から地震のゆれの特徴を理解させ、記録の分析により地震のゆれの伝わり方の規則性を見いださせる。また、地震の原因などをプレート動きの動きと関連づけて理解させる。	大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、地震の伝わり方と地球内部のはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	地震について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、地震のゆれの大きさや伝わり方の規則性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	地震に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
2月		3. 火をふく大地	さまざまな火山の活動などを調べさせ、それらのようすはマグマの性質が深く関係していることを考察させるとともに、マグマからできる火成	大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、火山活動と火成岩についての基本的な概念や原理・法則などを理解	火山について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現しているなど、	火山に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

第【 1 】学年【 音楽 】科学習指導計画

月	単元名	小単元・目標	主な学習活動・内容	評価規準		
				主体的に学習取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能・理解
4	斉唱	オリエンテーション 「校歌」 「Believe」	・姿勢や呼吸などの基本的なことの確認 ・明るい歌声 ・曲のまとまり	・基本事項を自分なりにつかみ、実践しようとしている。 ・自分なりにまじめに取り組んでいる	・曲の雰囲気について考え、適した表情や表現について自分なりに考えることができる。 ・他の生徒の姿勢や呼吸について、一緒に考えようとしている。	元気にしっかりと歌うことができる。
5	合唱	「We'll Find the Way」	・旋律の重なり方	「[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。」	「[思] 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。」	「[態] ※曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。」
	斉唱	「主人は冷たい 土の中に」	・曲のまとまり	「[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。」	「[思] 旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。」	「[態] ※曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。」
6	鑑賞	「春」	・音色、イメージ	「[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。」	「[思] 音色、旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。」	「[態] ※曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。」
7	斉唱	「浜辺の歌」	・合唱の響き	「[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。」	「[思] リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。」	「[態] ※曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。」
9	合唱	「朝の風に」	・合唱の響き	「[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。」	「[思] 音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。」	「[態] ※曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。」
	鑑賞	「魔王」(鑑賞)	・音色、イメージ			

第【 1 】学年 【 美 術 】科学習指導計画 (年間指導時数 45 時間)

月	単元名	小単元・目標	主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	評 価 規 準		
				知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
4	アートゲーム (鑑賞) ③⑧	アートかるた	<ul style="list-style-type: none"> 「アートカードみえ」を使って、ゲームをしながら楽しく鑑賞する態度を身につける。 		美術作品、文化遺産としての絵画や彫刻のよさや美しさ、表現の工夫などを感じとったり、味わったりする。	ゲームをしながら、対象のよさや美しさなどを感じとったり想像したりすることを楽しみ、喜びをもって積極的に鑑賞をしている。
5	太陽を描く ②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩⑪	「太陽のイメージ」 ・ 自分だけの太陽を工夫して描き、自分らしく表現することの喜びに気づく。	<ul style="list-style-type: none"> 自分がとらえている太陽のイメージから、形や色を工夫し、自分だけの太陽を考える。 	観察したことやイメージを基にスケッチなどをして、さまざまな技能や造形感覚を生かし、美しく創造的に表現する。	感じとったことなどを基に主題を決め、想像力を働かせて自分の思いにあった表現の構想をする。	太陽のエネルギーや美しさなどを感じとったり想像したりすることを楽しみ、喜びをもって積極的に表現をしている。
6					自身の活動を的確に検証すると共に、自他の作品を鑑賞し、よさや美しさを感じとったり味わったりする。	
7	ポスター (デザイン) ④⑤⑦⑧⑨	<ul style="list-style-type: none"> ポスター表現の基礎を理解する。 ＜夏季休業期間の課題＞ 訴える力が強く、オリジナリティーあふれる美しいポスターをつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ポスター表現の基礎について学ぶ。 「明るい選挙」・「地域安全」・「薬物乱用防止」の中からテーマを選び、夏季休業期間中にポスターを制作する。 	表現の思いやイメージに応じてさまざまな技能や造形感覚を生かして、工夫しながら美しく個性的に表現する。	表現意図に基づき機能を考えて感性豊かな発想をし、かたちや色の構成などを工夫して、美しい表現の構想を深める。	思いを積極的に表現し、その喜びを味わおうとしている。
8						
9	太陽を描く ②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩⑪	「太陽のイメージ」(続き) ・ 自分だけの太陽を工夫して描き、自分らしく表現することの喜びに気づく。	<ul style="list-style-type: none"> 自分がとらえている太陽のイメージから、形や色を工夫し、自分だけの太陽を考える。 	観察したことやイメージを基にスケッチなどをして、さまざまな技能や造形感覚を生かし、美しく創造的に表現する。	感じとったことなどを基に主題を決め、想像力を働かせて自分の思いにあった表現の構想をする。	太陽のエネルギーや美しさなどを感じとったり想像したりすることを楽しみ、喜びをもって積極的に表現をしている。
10					自身の活動を的確に検証すると共に、自他の作品を鑑賞し、よさや美しさを感じとったり味わったりする。	

第【2】学年 【 美 術 】科学習指導計画 (年間指導時数 35 時間)

月	単元名	小単元・目標	主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	評 価 規 準		
				知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
4	アートゲーム (鑑賞) ③⑧	アートかるた	・ 「アートカードみえ」を使って、ゲームをしながら楽しく鑑賞する態度を身につける。		美術作品、文化遺産としての絵画や彫刻のよさや美しさ、表現の工夫などを感じとったり、味わったりする。	ゲームをしながら、対象のよさや美しさなどを感じとったり想像したりすることを楽しみ、喜びをもって積極的に鑑賞をしている。
5	太陽を描く ②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩⑪	「太陽のイメージ」 ・ 自分だけの太陽を工夫して描き、自分らしく表現することの喜びに気づく。	・ 自分がとらえている太陽のイメージから、形や色を工夫し、自分だけの太陽を考える。	観察したことやイメージを基にスケッチなどをし、さまざまな技能や造形感覚を生かし、美しく創造的に表現する。	感じとったことなどを基に主題を決め、想像力を働かせて自分の思いにあった表現の構想をする。	太陽のエネルギーや美しさなどを感じとったり想像したりすることを楽しみ、喜びをもって積極的に表現をしている。
6					自身の活動を的確に検証すると共に、自他の作品を鑑賞し、よさや美しさを感じとったり味わったりする。	
7	ポスター (デザイン) ④⑤⑦⑧⑨	夏季休業期間の課題 ・ 訴える力が強く、オリジナリティーあふれる美しいポスターをつくる。	・ 「人権」「地域安全」「薬物乱用防止」の中からテーマを選び、夏季休業期間中にポスターを制作する。	表現の思いやイメージに応じてさまざまな技能や造形感覚を生かして、工夫しながら美しく個性的に表現する。	表現意図に基づき機能を考えて感性豊かな発想をし、かたちや色の構成などを工夫して、美しい表現の構想を深める。	思いを積極的に表現し、その喜びを味わおうとしている。
8						
9	太陽を描く ②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩⑪	「太陽のイメージ」(続き) ・ 自分だけの太陽を工夫して描き、自分らしく表現することの喜びに気づく。	・ 自分がとらえている太陽のイメージから、形や色を工夫し、自分だけの太陽を考える。	観察したことやイメージを基にスケッチなどをし、さまざまな技能や造形感覚を生かし、美しく創造的に表現する。	感じとったことなどを基に主題を決め、想像力を働かせて自分の思いにあった表現の構想をする。	太陽のエネルギーや美しさなどを感じとったり想像したりすることを楽しみ、喜びをもって積極的に表現をしている。
10					自身の活動を的確に検証すると共に、自他の作品を鑑賞し、よさや美しさを感じとったり味わったりする。	

第【1】学年 【 技術 】科学習指導計画

月	単元名	小単元・目標	主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	評 価 規 準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	ガイダンス					
5	材料と加工	□材料の基本的な性質が分かる。	木材、金属、プラスチックの特徴を知る。	主要な材料や加工の特性等の原理・法則を理解している。	技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	進んで材料と加工の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
6	木材の特徴	□木材の基本的な性質が分かる。	木材の性質を知る。	木材の特徴と性質についての知識を身に付けている。		
6	製図	□製作に必要な図を等角図で書き表すことができる。	製図記号について知る。 等角図での設計図の書き方を知る。	製作に必要な図を等角図及び第三角法でかき表すことができる。		
7	情報モラル	□情報伝達の安全性とマナーを考えて、日常生活に生かす。	・事例を基にして、情報技術を利用するにはどんなことを心がければよいかを考える。	情報を利用する際に心がけるべきことを知る。	モラルを守る必要性を考えることができる。	
9	作業の安全	□製作時の心掛けや作業の安全について調べる。	製作時の心掛けや作業の安全を知る	練習作品の製作を通して、実習の安全な作業の進め方を身に付けている。	作業台の上を整理整頓し、安全な環境を作ることができる。	
9	木材のけがき	□木材のけがきができる。	木材へのけがきの方法を知り、けがきをする。	材料に適したけがきの方法についての知識を身に付けている。 けがきに必要な工具を、正しい方法に基づいて適切に使用することができる。	工具の仕組みを生かした使い方を工夫している。	
10	木材の切断	□適切で安全な木材の切断ができる	木材の切断方法を知り、安全に木材を切断する。 材料に適した工具を選択し、安全な作業を行う。	木材の適切な切断方法についての知識を身に付けている。 材料や加工の形状によって、工具を正しく選択し、安全に配慮しながら正確に切断する方法を身に付けている。	工具の仕組みを生かした使い方を工夫している。	
11	木材の切削	□適切で安全な木材の切削ができる。	かんながけにより部品を寸法通りに仕上げ、表面や切断面を滑らかにする。	かんながけの方法についての知識を身に付けている。 かんながけを、正しい方法に基づいて適切に行うことができる。	工具のしくみを生かした使い方を工夫できる。	
12	下穴あけ・接合	□適切で安全な下穴あけ、くぎ接合ができる。	くぎ接合の手順を理解し、四つ目ぎりや接着剤、げんのうを使用し接合する。	くぎ接合の方法についての知識を身に付けている。 くぎ接合を、正しい方法に基づいて適切に行うことができる。	工具のしくみをいかした使い方を工夫している。	

第【1】学年 【 家庭 】科学習指導計画

月	単元名	小単元・目標	主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	評 価 規 準		
				主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	技能・知識・理解
4 5	健康と食生活	<ul style="list-style-type: none"> 自分の食生活を振り返り、課題を見つけることができる。 食事の役割を理解し、健康に良い食生活について考えることができる。 栄養素の種類と働きについて知る。 中学生の時期に必要な栄養の特徴を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事をとる理由について考え、発表する。 食事の役割をまとめ、理解する。 栄養素の種類と働きや水の働きについて知る。 食事摂取基準について理解し、中学生に多く必要な栄養素についてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 食生活に関心を持ち、食事の役割について考えようとしている。 栄養素のはたらきについて関心を持ち、積極的に調べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康的な生活を送るために食事の取り方を工夫しようとしている。 自分が食べた食事に含まれている栄養素の問題点と良い点を考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の食生活を見直し実生活で活かすことができる。 食事の役割を理解する。 食品にふくまれている栄養素の種類とはたらきについて理解できる。 食事の役割を理解する。 食品にふくまれている栄養素の種類とはたらきについて理解できる。
6 7	何をどれだけ食べ	<ul style="list-style-type: none"> 身近な食品の栄養的な特徴を知る。 身近な食品を6つの食品群に分類できる。 食品群別摂取量の目安と1日に必要な食品の種類と概量がわかる。 必要な栄養素をみたく1日分の献立を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 6つの食品群と食品群別摂取量のめやすについて理解する。 身近な食品を6つの食品群に分類する。 朝食メニューを考える。 1日分の献立を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学生の時期の栄養の特徴について進んで理解しようとしている。 食品にふくまれている栄養素に関心をもっている。 日常の食事に関心をもち、意欲的に適切な献立を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分に必要な栄養は何か考えようとしている。 栄養的にバランスのとれた献立を工夫しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学生の時期に必要な栄養素の特徴を理解できる。 食品を栄養的な特徴によって分類できる。 献立をたてる手順やポイントを理解している。 食品成分表を利用することができる。 栄養的にバランスのとれた一日の献立をたてることができる。

第【 1 】学年 【 英語 】科学習指導計画

月	単元名	小単元・目標	主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	評 価 規 準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5	Unit 0 Welcome to Junior High School	小学校で習った表現を使ったり、単語を読んだり書き写したりすることができる。	[題材内容] 学校生活の場面 [学習内容] 小学校で習った表現 [言語の働き] 挨拶をする、指示する、質問する、答える	[知識]小学校で習った英語表現の意味・用法、アルファベットの名前と音や、大文字・小文字について理解している。 [技能]小学校で習った英語表現やアルファベットの音と文字の理解をもとに、あいさつや好きなものなどを伝え合ったり、アルファベットの音を聞いて文字がわかり、声にだして読んだりする技能を身につけている。	初対面の相手と知り合うために、好きなもの、入りたい部活動などについて、小学校で習った英語表現を用いて、おたがいの考えや気持ちなどを伝え合っている。	初対面の相手と知り合うために、好きなもの、入りたい部活動などを伝え合ったり、アルファベットの音を聞いて文字を予測したり、声に出して単語を読んだりしようとしている。
	学び方コーナー ①	英和辞書の見出し語配列について知り、基本的な使い方を理解する。	[学習内容] 英和辞書の見出し語配列について知り、基本的な使い方を理解する。	[知識]英和辞書の見出し語配列について理解している。 [技能]英和辞書の見出し語配列についての知識をもとに、辞書で単語をひく技能を身につけている。		英和辞書の見出し語配列について知り、基本的な使い方を理解しようとしている。
	Unit 1 New School, New Friends	自分がふだんよくすることや、できることを伝えることができる。	[題材内容] 自己紹介 [言語材料] be 動詞、一般動詞、can [言語の働き] 質問する、発表する、繰り返す、相づちを打つ、褒める、礼を言う	[知識]be 動詞と一般動詞、助動詞 can を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]名前や出身地、好きなものやできることなどについて、be 動詞や一般動詞、助動詞 can などを用いてコミュニケーションを行う技能を身につけている。	おたがいのことをよりよく知るために、名前や出身地、好きなものやできることなどについて、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたりしている。	おたがいのことをよりよく知るために、名前や出身地、好きなものやできることなどについて、簡単な語句や文を用いて即興でコミュニケーションを行おうとしている。
	Unit 2 Our New Teacher	身近な人やものについて紹介したり、たずねたりすることができる。	[題材内容] 新しい先生 [言語材料] This [That, He, She] is ..., 疑問詞 what や who, how [言語の働き] 紹介する、質問する、答える、相づちを打つ	[知識]This [That, He, She] is ..., 疑問詞 what や who, how を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]身近な人やもの、普段の行動などについて、This [That, He, She] is ... の文や疑問詞 what や who, how を用いてコミュニケーションを行う技能を身につけている。	おたがいのことをよりよく知るために、身近な人やもの、普段の行動などについて、簡単な語句や文を用いて情報を即興で話したり、たずねたり答えたりしている。	おたがいのことをよりよく知るために、身近な人やもの、普段の行動などについて、簡単な語句や文を用いて情報を即興でコミュニケーションを行おうとしている。
	Grammar for Communication 1	be動詞と一般動詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	[学習内容] be動詞と一般動詞	[知識]be 動詞と一般動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]自分や相手、身近なものについて、be 動詞や一般動詞を用いて、状態や習慣などを伝える技能を身につけている。		

9	Stage Activity 1 "All about Me" Poster	自分の好きなことについて、つながりのある文章を書くことができる。	[学習内容] 自分の好きなことについて、つながりのある文章を書く	[知識]Unit 5までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。[技能]自分が好きなことについて、読んだ内容を参考に情報を整理し、Unit 5までの学習事項を用いて、つながりのある文章を書く技能を身につけている。	自分のことを知ってもらうために、自分が好きなことについて、情報を整理してつながりのある文章でポスターを書き、おたがいに読んで感想を伝え合っている。	自分のことを知ってもらうために、自分が好きなことについて、情報を整理してつながりのある文章でポスターを書こうとし、おたがいに読んで感想を伝え合おうとしている。
	Small Talk! 1					
	Unit 6 A Speech About My Brother	自分と相手以外の人やものなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。	[題材内容] 家族の紹介 [言語材料] 三人称現在単数形 [言語の働き] 質問する、発表する、説明する	[知識]三人称単数現在形の文の形・意味・用法を理解している。 [技能]三人称単数現在形などの理解をもとに、家族や身近な人について、理解したり伝えたりする技能を身につけている。	友達などのことをほかの人に知ってもらうために、趣味などについてインタビューしてわかったことを整理して、まとまりのあるスピーチをしたり紹介文を書いたりしている。	友達などのことをほかの人に知ってもらうために、趣味などについてインタビューしてわかったことを整理して、まとまりのあるスピーチをしたり紹介文を書いたりしようとしている。
	Let's Talk 1 お願い	身近な人に許可を求めたり、依頼したりすることができる。	[学習内容] 身近な人に許可を求めたり、依頼したりする。	[知識]身近な人に許可を求める表現や依頼する表現の意味や働きを理解している。 [技能]自分がしたいことや相手に頼みたいことについて、身近な人に許可を求める表現や依頼する表現を用いて伝えたり、答えたりする技能を身につけている。	したいことや頼みたいことを伝えるために、その場の状況を考えながら、身近な人に許可を求めたり依頼したり、それに適切に応答したりしている。	したいことや頼みたいことを伝えるために、その場の状況を考えながら、身近な人に許可を求めたり依頼したり、それに適切に応答したりしようとしている。
	学び方コーナ ー③	英和辞書から英文に合った単語の意味を見つけるための使い方を理解する。	[学習内容] 英和辞典の使い方	[知識]英和辞書の構成要素について理解している。 [技能]英和辞書の構成要素についての知識をもとに、辞書で英文に合った単語の意味を見つける技能を身につけている。		英和辞書から英文に合った単語の意味を見つけるための使い方を理解しようとしている。
10	Grammar for Communication 4	三人称単数現在形を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	[学習内容] 三人称現在単数形	[知識]三人称単数現在形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]家族や身近な人について、その人がしていることや好きなものを、三人称単数現在形を用いて表現する技能を身につけている。		
	Unit 7 Foreign Artists in	自分と相手以外の人について話したり、どちらなのか、だれのものかをたずね	[題材内容] 日本在住の外国人アーティスト [言語材料] 代名詞や疑問詞 which, whose	[知識]代名詞や疑問詞 which, whoseを用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]代名詞や疑問詞 which, whoseな	人や文化、言葉や食べ物などについて知るために、人やものについての情報を聞いたり読んだりして整理し、簡単な語句や文を用いて、やり取りをしたり書い	人や文化、言葉や食べ物などについて知るために、人やものについての情報を聞いたり読んだりして整理し、簡単な語句や文を用いて、やり取りをしたり書い

	Grammar for Communication 6	現在進行形を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	[学習内容] 現在進行形	[知識]現在進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]現在の動作や状況について、現在進行形を用いて今していることを伝える技能を身につけている。		
	Unit 9 Think Globally, Act Locally	したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりすることができる。	[題材内容] 世界や地域の問題 [言語材料] 不定詞、look＋形容詞 [言語の働き] 質問する、描写する、発表する、反対する、報告する	[知識]不定詞(名詞的用法)や<look＋形容詞>を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]不定詞(名詞的用法)や<look＋形容詞>の理解をもとに、したいことやする必要のあること、人やものの様子についての話し手の視覚的な判断について、理解したり伝えたりする技能を身につけている。	世界や地域の問題について伝えるために、自分がしたいことや人やものの様子などについて、概要を捉えたり、思いを伝え合ったり書いたりしている。	世界や地域の問題について伝えるために、自分がしたいことや人やものの様子などについて、概要を捉えたり、思いを伝え合ったり書いたりしようとしている。
	Let's Talk 3 道案内	徒歩での道順をたずねたり、教えたりすることができる。	[学習内容] 徒歩での道順をたずねたり、教えたりする。	[知識]徒歩での道順をたずねたり、教えたりする表現の意味や働きを理解している。 [技能]地図を見て状況を整理し、徒歩での道案内の表現を用いて、道をたずねたり教えたりする技能を身につけている。	相手が目的地へたどり着けるように、地図を見て状況を整理し、適切に道案内のやり取りをしている。	相手が目的地へたどり着けるように、地図を見て状況を整理し、適切に道案内のやり取りをしようとしている。
12	Let's Listen 2 欠席した友達への電話連絡	友達にあとで伝えるべき情報を聞き取ることができる。	[学習内容] 友達にあとで伝えるべき情報を聞き取る。	[知識]伝えるべき情報を聞き取る方法を理解している。 [技能]伝えるべき情報を聞き取る方法の理解をもとに、持ち物などについての話を聞いて、内容を聞き取る技能を身につけている。	友達に情報を伝えるために、持ち物などについての話を聞いて、必要な情報を捉えたりメモを取ったりしている。	友達に情報を伝えるために、持ち物などについての話を聞いて、必要な情報を捉えたりメモを取ったりしようとしている。
	Stage Activity 2 My Hero	好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり、説明したりすることができる。	[学習内容] 好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり、説明したりする。	[知識]Unit 9までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]好きな有名人について、Unit 9までの学習事項を用いて、どんな人かを理解したり、有名人についてたずねたり説明したりする技能を身につけている。	好きな有名人がどのような人かを伝えるために、その人についての質問をして答えたり、紹介する文章を書いたりしている。	好きな有名人がどのような人かを伝えるために、その人についての質問をして答えたり、紹介する文章を書いたりしようとしている。
	Let's Read 1 Let's Climb Mt. Fuji	図や表などの情報を参考に、書き手の考えを読み取ることができる。	[学習内容] 図や表などの情報を参考に、書き手の考えを読み取る。	[知識]図や表などの情報をもとにした文章の読み方を理解している。 [技能]図や表などの情報をもとにして、まとまりのある文章の内容を読み取る技能を身につけている。	書き手の考えを理解して適切な助言などができるように、図や表などの情報をもとに、まとまりのある文章の概要を読み取っている。	書き手の考えを理解して適切な助言などができるように、図や表などの情報をもとに、まとまりのある文章の概要を読み取ろうとしている。
1	Small Talk! 2					

<p>Stage Activity 3 My Favorite Event This Year</p>	<p>思い出に残った学校行事について発表することができる。</p>	<p>[学習内容] 思い出に残った学校行事について発表する。</p>	<p>[知識]Unit 11 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]思い出に残った学校行事について、Unit 11 までの学習事項を用いて発表する技能を身につけている。</p>	<p>思い出に残った学校行事について、情報を整理したり感想を考えたりしながら原稿を作成し、発表のポイントを意識して話している。</p>	<p>思い出に残った学校行事について、情報を整理したり感想を考えたりしながら原稿を作成し、発表のポイントを意識して話そうとしている。</p>
<p>Learning <i>LITERATURE</i> in English</p>	<p>英語で書かれた文学作品を聞いて話の概要を捉え、物語の構成を理解することができる。</p>	<p>[学習内容] 英語で書かれた文学作品を聞いて話の概要を捉え、物語の構成を理解する。</p>	<p>[知識]物語の文章構成を理解している。 [技能]文章構成の理解をもとに、物語のあらすじを聞き取ったり読み取ったりする技能を身につけている。</p>	<p>物語のあらすじを理解するために、物語の文章構成を意識することで話の概要を捉えたり、話の続きを考えたりしている。</p>	<p>物語のあらすじを理解するために、物語の文章構成を意識することで話の概要を捉えたり、話の続きを考えたりしようとしている。</p>
<p>Let's Read 2 City Lights</p>	<p>物語を読んで、場面の变化や登場人物の心情などを理解することができる。</p>	<p>[学習内容] 物語を読んで、場面の变化や登場人物の心情などを理解する。</p>	<p>[知識]時間の経過や場面の变化を捉えた読み方を理解している。 [技能]時間の経過や場面の变化を捉えた読み方の知識をもとに、登場人物の心情などを読み取る技能を身につけている。</p>	<p>登場人物の心情などを理解するために、時間の経過や場面の变化に注意してまとまりのある文章から成る物語を読んでいる。</p>	<p>登場人物の心情などを理解するために、時間の経過や場面の变化に注意してまとまりのある文章から成る物語を読もうとしている。</p>

第【 1 】学年 【 保健体育 】 科学習指導計画 (年間指導時数 105 時間)

月	単元名	小単元・目標	主な学習活動・内容	評 価 規 準		
				主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能
4	【集団行動】	・集団としての規律やマナー、公正な態度を身につける。	・二列横隊 ・班編制	・集団としての規律やマナーを理解しながら、意欲的に取り組むことができる。	・集団行動(二列横隊)のポイントを理解しながら、取り組んでいるかどうか。	・基本的な隊形を習得し、集団の一員としての自覚をもつことができる。 ・集団行動としての規律やマナーを理解しながら、自分の行動を予測することができる。
5	【新体力テスト】	・自己の体力の現状を正しく把握し、生涯スポーツの実践や体力づくりの基礎を養う。 ・体力の向上を図るための行い方を理解し、課題解決するための練習計画の見通しをもつことができる。	・50m走 ・立ち幅跳び ・20mシャトルラン ・上体おこし ・握力 ・長座体前屈 ・ボール投げ ・反復横跳び	・自己の体力の現状を正しく理解するための、各種目の取り組みを意欲的に行うことができる。 ・測定に必要な準備や、用具、場の設定を進んで行うことができる。 ・体力の向上を図るための行い方や課題解決のための練習計画の立案に意欲的に取り組むことができる。	・自己の体力の現状を踏まえ記録の軌跡を確認しながら、自己の体力に関する課題の設定を行うことができる。 ・体力の向上を図るための行い方や課題解決のための練習計画を自己分析しながら考えることができる。	・体力テストに向けて、最大パフォーマンスを発揮できるよう体調への自己管理を行うことができる。 ・体力の向上を図るための課題を解決するための計画をたてることことができる。 ・測定方法、ルール等を理解して行うことができる。 ・体力の向上を図るための行い方を理解し、自分の体力の課題を見つけることができる。
6	男子 【陸上】	短距離走やリレーのバトンパスの方法や走の技能を高め、自己記録への挑戦や仲間との競争を楽しむことができる。	・短距離走 ・リレー	・安全に留意しながら、技能や記録の向上を目指して仲間と協力して取り組むことができる。	・自分の目標や課題を持ちながら、練習や記録会に参加することができる。	・(短)自分に合ったスタート方法や加速の仕方を身につけ、記録を向上することができる。 ・(リ)リレーのバトンパスの仕方を身につけ、テークオーバーゾーン内でスムーズに加速することができる。 ・安全に留意して、競技のルールや練習方法・審判法を理解できる。
	女子 【バレーボール】	・チームの実態に応じた作戦をたててゲームを楽しむことができる。	・個人的技能 ・オーバーパス ・アンダーパス ・サーブ ・集団的技能 ・つなぎ(ラリーを続ける) ・ローテーション	・安全に留意しながら自分に適した目標を設定し、技能の向上を目指して仲間と工夫して意欲的に練習やゲームができる。また、ルールを把握しながら審判などのゲーム運営に積極的に関わることができる。	・技能の要点(オーバーパス、アンダーパス、サーブ、スパイク、ブロック)を理解した課題をもつことができる。 ・状況に応じて、ルールを工夫したり作戦を立て、発展的なゲームや練習を行うことができる。	・基本的な技能(オーバーパス、アンダーパス、サーブ、スパイク及びブロック)高め、ボールをつないだゲームを円滑に行うことができる。 ・安全に留意して、各種のルール、各種目のルール、競技、審判方法を理解できる。また、チーム内での個人の役割を理解しながら行動できる。
	女子 【陸上】	短距離走やリレーのバトンパスの方法や走の技能を高め、自己記録への挑戦や仲間との競争を楽しむことができる。	・短距離走 ・リレー	・安全に留意しながら、技能の向上を目指して仲間と協力して創造できる。	・自分の目標や課題を持ちながら、練習や記録会に参加することができる。	・自分に合ったスタート方法や加速の仕方を身につけ、ルールを守って記録を向上することができる。 ・安全に留意して、競技のルールや練習方法・審判法を理解できる。

3	男女 【ダンス】	・リズムに合わせて全身を動かしたり、感じを込めて踊ったり、グループで踊りを創作し、楽しく踊ったりすることができる。	・リズムダンス ・創作ダンス	・ダンスの特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとする。また、互いのよさを認め合い、協力して練習したり発表したりできる。	・グループの課題や自分自分の能力に適した課題の解決を目指して、練習の仕方や発表の仕方を工夫している。	・自分自分の感じ方や工夫を率直に表現し、感じを込めて踊ったり、みんなでかかわりをもって踊ったりすることができる。 ・ダンスの特性や学び方、歴史を理解するとともに、発表の仕方や鑑賞の仕方を理解し、知識を身に付ける。
5 ~ 3	男女 【保健】	・健康な生活と疾病の予防について理解し、健康な日常生活を送るための望ましい行動や調和のとれた生活習慣を身につけることができる。	・傷害の防止 ・健康な生活と病気の予防	・健康の保持増進のために必要な課題を発見したり、調べたり、考えや意見をまとめて発表することができる。	・健康な生活と病気の予防について、自分の知識や日常生活を振り返り、課題を見つけることができる。	・健康な生活と病気の予防についての実践方法を習得することができる。 ・健康な生活と病気の予防について、課題解決に役立つ知識を身につけることができる。

<備考>保健は年間を通して適時実施する。

体ほぐしの運動は、各単元にふさわしい運動や準備体操を適時実施する